



REBORN
project

—世界には、もっとあなたが成長できる舞台がある—

日本で学び、豪州で磨き、NYで挑む。本気のワーホリプロジェクト



JAPAN：事前準備で「学ぶ」ステージ



project_ **STAGE.1**

海外留学・ワーホリのための事前準備



AUSTRALIA：国際都市で「磨く」ステージ



project_ **STAGE.2**

英語以上にモノを言う部分を鍛え磨く



NEW YORK：世界市場で「挑む」ステージ



project_ **STAGE.3**

磨いた経験を自信に変え世界に挑む



project_ **STAGE.1**



フツターの語学留学より
REBORNワーホリの方が
英語力が身につく？

本気の留学プロジェクト



REBORN
project

海外は甘くない。何とかなる？じゃなく「何とかする！」ための事前準備

REBORN PROJECT PREPARATION JAPAN



鳩野寛文 (ハトノ ヒロフミ) REBORN Project 開発者
米国留学がキッカケで世界の味を知るため、北米、欧州、東アフリカ、中東、オセアニアへ。2004年から留学業界に参入し2007年に豪州へ移住。留学業界に14年従事してきて、この業界が発信する常識の多くが「非常識」であることを確信する。業界体質に染まらず、良かれ悪しかれ「本質」「本音」を話せる数少ない存在として活動していくことを決意。業界常識を打ち破り、業界初のワーホリ・留学プログラムを開発。

弱くする「ヘルプ」はしたくない。
強くなる「サポート」で応援したい。

自分でやるべきことは自分で、プロに任せるべきことはプロに。
留学をダメにしない本質サポートにこだわりたい。

海外へ挑戦した先輩達の声は昔から決まっています。英語と日本の学習不足への後悔、そして行けば何とかなるだろうという勘違いです。日本人はなぜか海外に対し根拠のない幻想が強く、またそれを払拭しない留学業界の体質が助長していることもあり、帰国後の後悔の言葉が絶えません。

REBORN Project では、多くの日本人が考えている誤解・勘違いを打ち砕き、旧態依然の業界体質に染まらず、海外挑戦に必要な事前準備を用意しています。また、留学業界は手取り足取りのサポートが多く目立ちますが、それが「海外で自立できない日本人」を作り出している最たる要因だと考えます。耳の痛いリアルな現実を伝え、先人として教育を通して海外留学をサポートしています。

事前準備を通して、どの情報が正しく、本当に必要なのか、迷わず情報収集するポイントや新たな可能性を知ってください。

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.

SPECIAL POINT

3つの誤解と準備不足が多くの後悔の原因。帰国者の第一声が生んだ事前準備

必要なメカニズムをインプットする

第二言語として英語を習得する限り、まずメカニズムとなる英文法の習得は最重要項目。会話のバリエーションが広がらないのは文法事項が足りてない証拠。各種英語資格者、海外経験豊富な講師から海外生活で支えとなる基盤を学ぶ。

●担当講師：TOEIC（985点&960点）、英検一級、ケンブリッジ英検 CAE、留学経験者

覚えた英語を「使える英語」にする

英語は勉強しているが、いつまでも話せるようにならない。これは「勉強しているだけ」であって「使って話していないから」。インプットした英語を外国人講師の前でアウトプット。日本人として堂々と交流を図れるツールを鍛える。

●担当講師：外国人講師、TOEIC960点、ケンブリッジ英検 CAE、留学経験者

主体性・計画力・実践力を備える

文化や言葉の壁は自分のメリットに代え、相手を受け入れ同時に自分を主張する。そして自分に絶対の自信を持つ。海外でも通用するコミュニケーション能力、バランス能力、相互理解力、そして「より日本人らしさ」を強みにする。

●担当講師：REBORN 開発担当、海外移住、海外勤務経、REBORN 卒業生、英語講師



社会人の1日

私の事前学習 スケジュール



三坂 舞美 | 医療業界



朝・昼・晩の、 スキマ時間を活用！

06:30 起床 1回 speaking 課題聞き流す。

07:30 通勤 リスニング課題、ニュースを読む。到着5分前からテンションUPのための音楽を聴く。

12:30 休憩 アプリで単語テスト、ニュースを読んだり、でもほとんど本気の休憩時間！(笑)

18:00 退社 日勤夜勤あるので退社時間は日による。ほぼ寝ながらリスニング。残業時は無し！

19:00 帰宅 やる気が溢れている時はお風呂に教材持ち込んで半身浴。

21:00 自宅 英語文法頑張るタイムととりあえず教科書を開いてみる！眺めるだけの日や海外ドラマ観て終わることも。

24:00 就寝 おやすみなさい！



英語を使う仕事はメール・電話対応、翻訳、書類作成、契約書チェック、外資系メーカーとの会議同席など。日々はREBORN 英語講師とのラインは英語。ラインは英語でやり取り。毎週の Journaling を提出。日本と世界の知識を増やすことを意識して生活。新聞、ニュースアプリのチェック、読書などで英語に触れるように。



朝方集中スタイル。 プライベートで集中！

05:00 起床 6時~7時まで英文法。

08:00 通勤 ニュースチェック、単語、時々音楽、動画。基本は単語。

09:00 出社 仕事バリバリやる！

13:00 休憩 単語と文法の復習が終わってない課題をやる。30分ほど。

19:00 退社 今日もお疲れ様！

20:00 帰宅 仕事の調べものと記録動画や音楽を聴く、運動する。

21:00 自宅 土日は絶対3時間学習タイムを。出来なかった課題など。

24:00 就寝 今日もお疲れ様！

*プライベートの土日は、友達と出かけることが多いので、絶対3時間は意識して時間を作る。基本的に出来なかった課題の見直しをやったりしている。こう見ると、今まで無駄な時間があると自覚できた。



田中 奈津美 | スポーツ業界



毎日英語を使う職場環境でも、 通勤時間の英語 News は必須。



マケモノの時間作り！ 己を知り効果を上げる。

07:30 起床 出発ギリギリまで寝る

08:20 通勤 ニュースチェック、動画、音楽を中心に！音読課題の動画など気分によって。

09:15 通勤 駅周りを散歩して困っている外国人がいないか偵察！w。いたら声掛け！

09:30 仕事 バリバリ働く！

14:00 休憩 参考書、音読課題など

19:00 終業 (早い時)会社の人のいない会議室で勉強！帰宅するとダラーなのでこれが my style!

25:00 入浴 半身浴しながら動画、音読

題の音読・洋楽を歌う♪リラックスしながら英語を楽しむ。

26:00 就寝 Cinderella time を気にして寝る！おやすみなさい。



TOEIC
920点



大北 舞 | サイエンス業界



休みの日は夜勉強。
外国人にも話しかける！

起床 おはようございます😊

通学 電車の中で熟語をインプット or リスニング。時々音楽、動画。基本単語。

学校 図書館で英語課題や卒論。

放課後 動画、字幕海外ドラマ。

自宅 好きな洋楽の歌詞を読みながら歌ったり！笑

就寝 寝れない時はアプリで快眠に導く英文を聴いて寝ます！

[学校がない日]

バイト だいたい 11:00~16:00。

カフェ バイト先近くのカフェで REBORN の課題から勉強。カフェにいる外国人の会話を聞いたり笑。

帰宅 勉強タイム！夜のほうがはかどる！英語で日記もつける！



斉藤 愛里 | 大学3回生



影山 湧哉 | 大学3回生

学校&バイトの日はリスニング&単語！バイトだけの日は昼か夜に学習！REBORN の課題はなかなか出来ない日もある



吉田 裕香子 | 大学3回生



スキマ時間を大活用！
毎日コツコツ週間化。

起床 朝の身支度。洋楽を聴く。

通学 ①CNN ニュースを聞く。

学校 ②授業の空きコマに、動画を見る or TOEIC の課題など。



お昼 ③留学生とご飯を食べる！

放課後 バイト通勤中に洋楽を聴く or ニュースを見る。

自宅 ④journaling15分間する。

就寝 おやすみなさい(つよ)



Upper
Intermediate
達成



英語にハテナがついたら、
即、調べて音読する体質改善。

ど、英語授業を多く受けているので英語に何かしら必ず触れています。ここ最近はスピーキングの出来なさにショックを受けたのでハテナは調べて音読するように意識しています。

大学生の1日

私の事前学習 スケジュール



興味持てる素材を活用。
字幕動画を見まくる！

起床 音楽聴きながら朝の身支度。

通学 音楽三昧！

学校 授業の合間に REBORN 課題。

放課後 バイトやカフェで勉強。参考書、単語帳は持ち歩きしてやっています。journalingなども！

自宅 どうしても携帯でYouTubeを見てしまうのですが、興味ある動画素材をどんどん活用しています。英語字幕のものや英語で話しているものを見たりしています。あとは大学のレポートなど！



福島 生子 | 大学2回生





project_ STAGE.2



自信満々で英語を使えるのは
言葉以上に実践力がついたから

これまでのワーホリを変える、
新しいワーホリプロジェクト。



REBORN
project

単に住むのではなく「学び」を得るためのホームステイ滞在【4週間】

ORIGINAL HOMESTAY PLACEMENTS



初心者でも安心のホームステイ

一般的にホームステイには「あたり・はずれ」があるが、本プログラムは常に良いホストファミリーを開拓することに専念し、数合わせのための手配は一切おこなわない。

ホストファミリーの募集から面談、訪問、そして手配に至るまで一貫して現地スタッフが行っています。約3,000名以上のホームステイ手配から培った経験と勘、そしてオーストラリア人の生活習慣を踏まえて、一軒一軒訪問し、ホストファミリーとじっくりと話し合いをした上で契約をしています。そのため、ホストファミリーとのつながりも大変強く、緊急時の対応もスムーズで、生活様子などもしっかりと確認することができるようになっているのが特徴です。

ホストをするという意味、意義をしっかりと理解してくれるホストファミリー限定です。またホームステイを成功させるには何もホストファミリーの資質だけではありません。どのような心構えで生活すればより楽しいホームステイになるか、ホストファミリーと仲良くなるための秘訣を伝授します。

多くの学生を受け入れてくれているファミリーや当社からだけ留学生を受け入れてくれているホストファミリーもたくさんあり、こうした相互の信頼の元に手配をしているのが契約ファミリーです。

SPECIAL POINT

契約ファミリーは100軒以上の信頼

長年の信頼関係で生まれる契約件数。本プログラムの契約ファミリーは厳しい制限を設けており、また手配の際にも必ずルールに則ってホストファミリーの選択を行う。以下がその一例。

<契約ホームステイの契約と手配の基準>

- 滞在中は他に日本人ゲストが入っていないことが原則
- ファミリー宅の近所に公共交通機関があることが契約基準
- 清潔でキレイ好きなホストファミリーを選択
- 英語を共通語として使用しているファミリー
- 緊急時に対応してくれるホストファミリー
- 限られた英語でもコミュニケーションが取れるファミリー
- 喫煙・疾病・アレルギーの有無が最大重要項目
- 危険地域や低所得者エリアなどに居住していないファミリー

留学業界では数少ないホームステイを提供し続けています。



Seek to Be the Best you can Be!

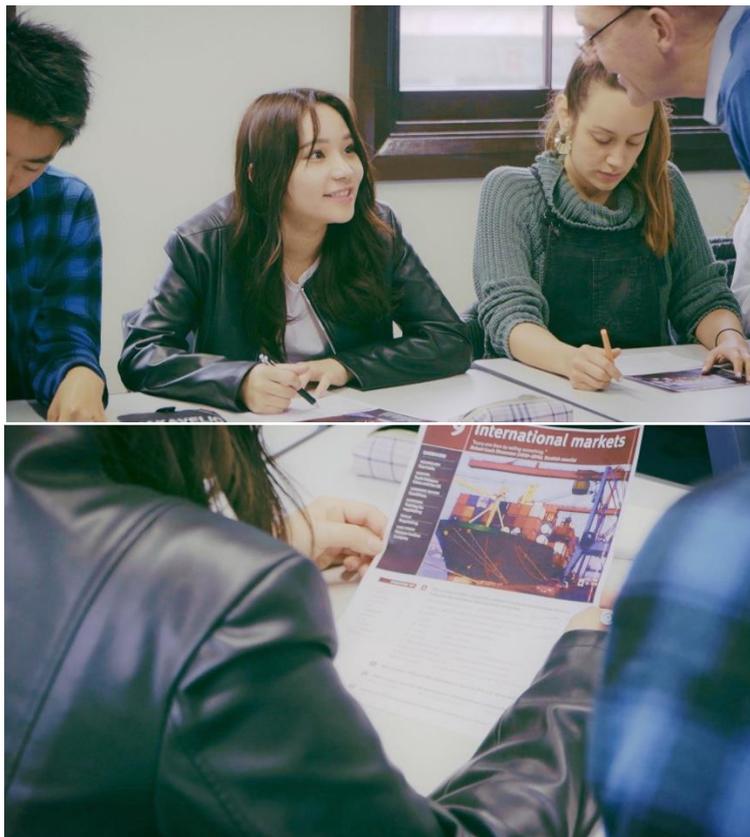
ゲストには《郷に入れば郷に従え》に基づき、今までの日本の常識を捨てて新しい常識を身につけることが求められます。背景が違う他人同士が一つ屋根の下に住むわけですから、最初から和気あいあいと何事も問題なく事が運ぶという事はありません。自分から打ち解ける努力が必要ですし、問題が起こっても一つ一つを貴重な体験ととらえる姿勢を持ちましょう。

ホームステイでの過ごし方によっては、語学以上の「財産」となる。

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.

国籍豊かな学生と受け身じゃなく攻めの学習環境で学ぶ【16週間通学】

LANGUAGE SCHOOL SYDNEY CAMPUS



自分が頑張れる学校×頑張る自分

語学学校といっても世界中に星の数ほど存在する。多くの日本人は授業料、教師の質、ロケーション、雰囲気、日本人比率などを基準にしがちだが、学校選択としてあまり意味がない。

多くの留学生やワーホリメーカーの入り口となっている語学学校とは、その名のとおり「語学の専門学校」です。語学上達のための様々なコースがあり、初心者から上級者まで目的に合わせて幅広く選択が可能です。しかし、学校に行けば英語が勝手に上達するわけではありません。

本カリキュラムは、多くの留学エージェントが学校を紹介している理由とは正反対で、英語習得のあくまでも踏み台の位置づけとして、従来の留学のような「学校中心で展開する海外生活」から脱却することです。そのため、必要なコース選択と集まる学生層に注目して、語学学校を選定してカリキュラムに組み込んでいます。1年後の英語レベルを達成するために必要なパーツであり、そして通過点にすぎません。日本人の生徒は数より「質」です。「ロケーション」で英語上達は左右されません。「教師の質」が良いのは当たり前です。むしろ教師より「生徒の質」が大切です。安価な授業料に良質を求めても存在しません。語学学校はハード、自分はソフト、最高の両者が揃わないと相乗効果を狙えません。

SPECIAL POINT

REBORN に合う語学学校へ通学

当プログラムでは机上の英語学習ではなく、実践で使える語学習得を達成するカリキュラム。よって、一般英語コースを極力避け、発音矯正、英語への恐怖心克服、実践スキルを学び相乗効果を得られる環境＝学校を取り入れたい。



[ABILITY English] Survivor English

This course will help you build confidence in your ability to speak English. All classes are organized to respond directly to individual students' needs. The focus is on real-world English, taught with a practical, communicative approach supplemented with activities from real life environments and contexts.

[LANGPORTS] UFO English

Langports' UFO English program has been designed to meet the needs of individual students. We understand and acknowledge that students have different learning skills, different learning abilities and different learning objectives. This is why we designed the UFO English course.



Seek to Be the Best you can Be!

[語学学校を決める時期]

実際の渡航日の5ヵ月前に決めていきます。事前準備でトレーニングしてきた英語力やその他に合わせて担当者がアドバイスします。判断基準は学校のスペックではなく、参加者の英語能力、性格、目標などを参考としています。

学校はハード、自分はソフト。最高の両者が揃って相乗効果が狙える

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.

海外在住20年のベテランから学ぶ【1年間サポート&サバイブ塾4回】

REBORN PROJECT STAGE AUSTRALIA

REBORN Project への思い

多くの留学生が、実は非常に狭い社会で生活している。「日本人ばかり」「英語を話す機会がない」と言う留学生が多いのはこのため。留学は人生の通過点であり、「海外」という舞台で今までの自分を試す場所、そして新しく創造する場所であることをサポートを通して伝えていきたい。

時代の流れと共に国際化がますます加速していく中、国も企業も人もあらゆる局面での変革を求めなければなりません。情報化社会は脅威のスピードで進み、あっという間に遠かった海外の地が今や誰でも身近な存在となりました。しかし、近くなった異国へ旅立つ留学生が方向性を見失わず、時代が求める“人材”に対応できているでしょうか。このプログラムを通して、マイノリティである自分の存在を改めて意識し、多様な文化の中で「調和」と「主張」のバランスを

体得して欲しいと思います。また、これからの時代はどんな職業で、どこで働こうが、どんな世代であろうがどんどん押し寄せるグローバルな波の中で生きていくことになるみなさんに、本当の意味での「グローバル人材」とは何かを理解し、将来は日本で、そして世界で活躍するマインドやスキルを身につけてもらえれば願っています。長年の経験と人脈を駆使してサポートしていきます。

SEEK YOUR FUTURE



JUNKO SATO (サトウ ジュンコ)

三重県生まれ。1997年ワーキングホリデービザでオーストラリア来豪。ビジネスビザ滞在を経て永住。日本では貿易事務、児童英語教師、成人英語教師などを経験。学生時代は英語が大の苦手、人生で避けたい代表格の一つだったが、今では母国語のように使いこなし、幅広いローカルコネクションを持つ。今まで3,000名以上の留学生サポートしてきたベテラン。また、オーストラリア政府が公認しているPIERの認定資格保持者として、留学に関する法律、教育システム、その他全般の知識に精通。

SPECIAL POINT



英語以上にモノを言う部分を

SURVIVE Juku

在豪20年のベテランスタッフから学ぶ、英語を武器へと変えるノウハウ、テクニック。英語の本当の姿を知り、世界で通用するマインド&スキルを身に付ける。

●サバイブ塾 (全4回)

- ・「グローバル人材」になるための資質
- ・日本人の特性&日本の外からの研究
- ・外国人と対等に付き合い、自己主張する方法
- ・行動指針 (行動・分析・反省・再行動)
- ・民間大使「アンバサダー」
- ・趣味と英語を生かして現地コミュニティに参加するコツ
- ・現地企業面接で失敗しない方法
- ・スケジュールの難しさと賢い計画の立て方
- ・就職につながる経験種類を知る

●英語ブートキャンプ (全4回)

- ・英語の勉強の仕方、伸ばすコツ
- ・外国人と対等に付き合うための挨拶と行動
- ・英語発音矯正 how to
- ・リスニング攻略法
- ・就職につながる英語はこれだ
- ・パブリックスピーキングのコツ
- ・英語での表現力を伸ばす
- ・海外で「使い捨てる英語」と帰国後「使える英語」の違い

※上記内容は参加時期により内容の変更あり

便利なサービスより本質サポート

SURVIVE Support & Emergency

留学・ワーホリに最低必要なサービスと、必要なサポートを提供。海外で自立できない留学生を作り出している、従来の便利なサービスではなく、腕を磨くためのサポートで支援する。

●現地サポート (1年間)

各種(住居,仕事)アドバイス/24時間緊急サポート/銀行口座開設/生活&就職セミナー/TFN 取得サポート/到着前後荷物保管/私書箱,郵便物転送サービス/現地携帯電話購入レンタル手配/弁護士,会計士などのサービス案内/海外留学生保険の加入・延長手続き方法の説明

※サポート詳細次ページ「現地サポート&サービス内容」を参照

Seek to Be the Best you can Be

サポート・サービス項目	時期	内容
空港ピックアップ	シドニー空港到着時	空港お出迎えは専用車で日本人スタッフがいたします。指定の場所でお客様のお名前が入ったネームボードを持っています。銀行口座を開設するまでに必要となるお金を空港にて両替することも出来ます。
到着時オリエンテーション	シドニー空港到着時	現地到着時にオリエンテーションを行います。オリエンテーション内容は以下の通りです。 1. 地図でホームステイ、学校などの位置を確認後、電車、バスの乗り方を説明します。 2. 生活していく中での注意事項やホームステイ先での注意事項など解説を行います。 3. 語学学校、ハイスクール、インターンシップ、その他プログラムの案内と説明を行います。 4. 希望を伺い、日本で計画されていた生活設計の相談や不安の解消に努めます。
滞在中の各種相談アドバイス	滞在中	滞在中、安心して生活ができ、計画的に滞在ができるように日々サポートをします。サポートの中には、将来帰国後に活用できる英語力を備えるためのコツや就職に強い経歴につけ方などのアドバイスも含まれます。対面での相談以外にも電話にてお客様の生活相談に対応します。お客様は当社を影で支えるサポーターとして活用していただけます。家賃の支払いなどで生活上発生し得るトラブル、個人的な悩み事や将来の不安などの相談に対応します。
24時間緊急サポート	滞在中	緊急に備え、24時間サポート体制を整えています。メンバーには緊急連絡先専用の電話番号をお伝えします。
銀行口座開設サポート	滞在中	現地で開設する銀行口座の開設方法をご説明します。ATM(自動現金支払機)とEFTPOS(店舗オンラインシステム)使用方法に関する説明も含まれます。
生活セミナー	滞在中	シドニー到着後数日以内に下記の事項およびその周辺情報を解説します。 1. シドニーの生活水準と治安 2. シドニーの食生活、物価水準 3. ホームステイとフラット生活 4. シドニーでのアコモデーション探しなど
就職講座	滞在中	「就職講座」は就職活動についての説明とシドニーでの求人情報を紹介します。 1. 仕事探しのポイントとその方法 2. 給与水準や面接にあたり気を付けること 3. 就労する側の権利や納税の義務 4. 英文履歴書の書き方 ※税金還付手続きはお客様ご自身で行えます。希望者のみ無料でアドバイスいたします。
TFN申請サポート	滞在中	オーストラリアで就労するにあたり、TFN(納税者番号)を所持しなければ給料は支払われません。TFN取得申請書をお渡しし申請方法をご説明します。
到着前後の荷物保管サービス	滞在中	郵便物の受取、保管、弊社住所の連絡先としての使用や手紙転送サービスを行います。長期旅行や住所変更の際は家族や友人との連絡先の場として使用することができます。
私書箱サービス・郵送転送サービス	滞在中	郵便物の受取、保管、連絡先としての使用や手紙転送サービスを行います。長期旅行や住所変更の際は家族や友人との連絡先の場として使用することができます。
レンタル携帯電話の手配・番号取得	滞在中	携帯電話のレンタル方法の説明や手配、事前に番号取得のお手伝いをします。
弁護士、会計士などのサービス案内	滞在中	弁護士や会計士が必要な場合、現地の会社やサービスを紹介します。
海外旅行傷害・海外留学生保険の加入・延長方法の説明	滞在中	海外旅行傷害保険、海外留学生保険の説明や加入、延長手続きの方法を説明します。

●便利なサービスより、「本質サポート」

そこにあったら「便利なサービス」は巷にあふれており、そこに価値はありません。海外生活において重要なのは上記表にある「滞在中の各種相談アドバイス」。対面、メール、電話やLINEなどを駆使して必要なサポートが必要な時に受けることができます。みなさんが、より良い留学生活のスタートをきることができ、そして滞在中にご自身で自立した生活ができるように影ながらサポートしていくのが現地サポーターとしての役割です。

「日々の生活の中で必要な情報収集」

誰も知人のいない土地に行き、手探りで一から全ての情報収集を行い、合っているのか間違っているのかわからない情報に頼って生活を始めることがどれくらい不安なことか。限られた時間しかない海外生活、必要な情報を的確に収集することが時間を買うことにもなる。バス乗り場を知りたい！や税金システムがわからない、などがこれにあたる。

「問題解決の糸口」

海外の生活習慣においては、意図せず大なり小なりの問題は発生するもの。電話代、電気代の過大請求のような一般生活におけるものから、交通事故や事件に巻き込まれるなど日本でも混乱してしまうような状況は発生する。理論的な考え方をする西洋人を相手に問題解決をするためには、豪に入れば豪に従え、同じ土俵で戦う論理を保持すること。海外生活が長く、アプローチ方法を知っている現地の人間に聞くのが必勝法である。

「先人としてのアドバイス」

ワーキングホリデーや学生ビザなど比較的長期で滞在する場合、何かと壁にぶつかるものだ。日本に住もうが海外に住もうが、悩んだ時には家族、兄弟、友人に相談しながら解決をしていく。海外に出ると身近で状況を把握できるのは友人くらいのもの。しかし友達もワーキングホリデーであれば、考え方や向かっていく先は似ているところがあるのは否めない。現地永住者、先人達にアドバイスを求めているだろうか？「外の風」という意味でも、発想の転換という意味でも、トラブルした状況から抜け出すための一言やアイデアを提供できるはずだ。

●安心の「24時間緊急サポート」

病気や事故、盗難や予期せぬトラブルに巻き込まれるなどの緊急時に備え、24時間のサポート体制を取ります。日本人スタッフが日本語で対応し、いわゆる「人為的な保険」の役割を果たします。夜道に迷ったり落し物をしたといったことから、緊急事態の場合は、当社のスタッフが現場まで同行することもあります。オーストラリアは安全な国と言われてはいるものの、生活をしていれば否応なくトラブルは発生するものです。慣れない国ではできるだけ危険から回避するとともに、「万が一」に備えておくのも大切なことです。

英語教師歴25年。ネイティブ・オーストラリア人のリアル英語サポート【10回&アセスメント】

SURVIVE ENGLISH CONVERSATION

語学学校では学べない「英語」を体得する

語学学校以外の場で、ネイティブ講師からの正しい英語の評価や指導はまずない。ワーホリの場合は平均通学期間は2~3ヶ月間、それ以降に英語を「正しく更新」できないまま。また語学留学で1年通学しても、教科書通りの英語だけでは実践では使えない。あなたの英語を1年間通してリアルな英語へチューンナップしてい

The survival english I do are all about practicing your English with a native speaker while walking around one of the most beautiful cities in the world, Sydney. Instead of sitting in a classroom we walk and talk about whatever it is that has motivated you to come to Australia, your dreams, your goals in your chosen career and help you with your English to make those dreams come true. It is a unique fun way to learn English but also learn about life in a foreign country. I too have lived in many foreign countries, including Japan and I understand the challenges you may have living abroad speaking English but give you advice on how to overcome those challenges. I am looking forward to meeting you someday in Australia.

Dare to dream and let's make it happen!!



Anthony Lucas-Smith & Naomi Lucas

英語教師歴25年。日本や台湾で教えていた経験も持つ。家族全員が教師で、自分自身も教師になったことは運命？シドニーのビーチで出会った日本人を起用した映画「BONDI TSUNAMI」を製作、公開。この映画は愛知万博にて上映となった。地元で有名なラジオ局、ボンダイFMで日英のクロスカルチャー・コミュニティー向けにバイリンガルのラジオ番組も担当。またクロスカルチャーイベントとして豪日サーフィンフェスティバル(The Bondi Tsunami Festival)を主催し、手がける。

SPECIAL POINT



国際都市を歩きながら腕を磨く

SURVIVE English Conversation

サバイブ・プライベート英会話レッスン

1年間を通して、各プログラムに合わせた英語、表現、態度などをピンポイントで体得させていく。語学学校では学べない、日本人が知らない強い英会話力を学ぶ。

ネイティブだからリアルな評価

SURVIVE English Assessment

サバイブ・プライベート英語アセスメント

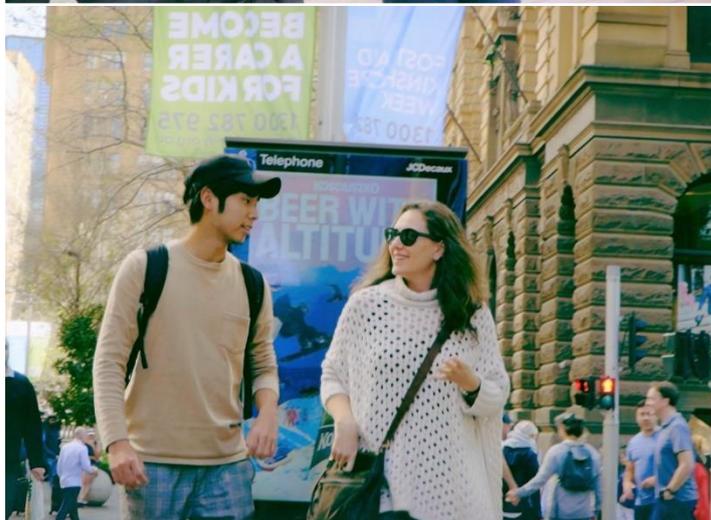
1年間を通して3段階のアセスメントを実施。プライベートレッスン中に教育しながら課題を見つけ出し導いていく。ネイティブ講師のリアルな評価と分析が学校以外で知れるのはココだけ。

●プライベートレッスン+アセスメント（4ターム20時間）

シドニー到着後から15週間、24週間、36週間、48週間と、1年間を通して、各4ターム毎でのトレーニングとレベル判定を行います。

- ▶ 日本人を含め25年以上英語を教えるベテラン
- ▶ 英語上達に何が必要か熟知
- ▶ 間違いはその場で直す
- ▶ 日本人が思わず間違えるクセは全部お見通し
- ▶ 逃げ場のないスピーキング環境
- ▶ 自信が持てるアンソニーマジック

レッスン場所は教室じゃなく、美しいシドニーの街やビーチ環境です。



Seek to Be the Best you can Be

現地ハイスクールで生徒&学校関係者と交流【4週間】

EDUCATIONAL FIELD TEACHING ASSISTANT

先生と呼ばれる立場で教える交流

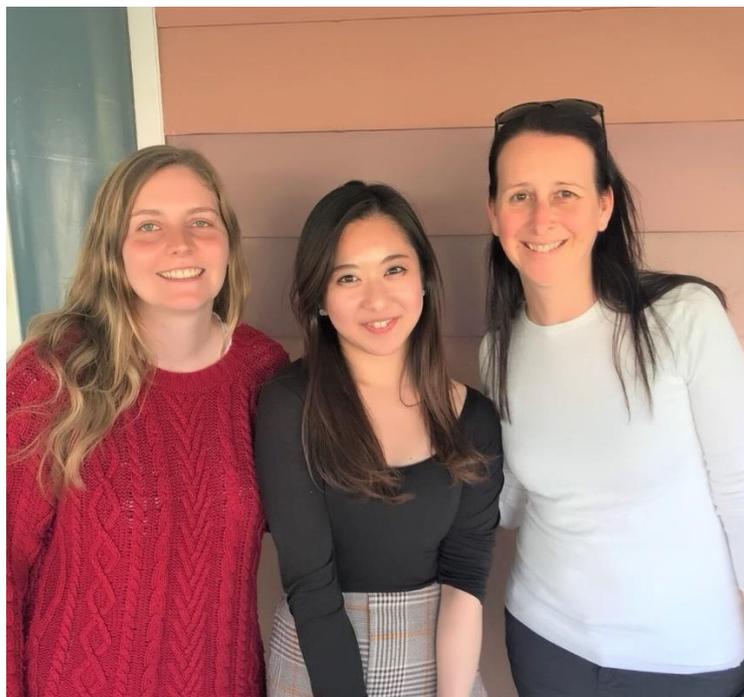
日本の小中高校では、日本人の先生が英語を教えるため、英語の発音や文法、自然な会話、文化紹介など限界がある。それと同じで、海外ではその国の先生が日本語を教えている場合が多い。現地の先生をサポートし、日本人として発音や情報を紹介するためアシスタントティーチャーが必要とされている。

多くの学校は折り紙、習字、茶道、華道といった日本固有の文化を通じて日本語・日本文化を学んでいます。また、高学年になると、教科書を使って会話や文法も学んでいきます。アシスタントティーチャーに最も必要とされるのは、やる気と積極性であり、経歴や資格は必要ありません。「日本人であること」にとっても価値があるのです。

現地の生活に密着し、通常の留学では味わうことのできない、現地学生・学校スタッフ及び地域住民とのふれあい。また教壇に立つことへの責任感等の体験を通して、英語力の向上だけでなく、人間としての成長も望めます。学生にとっても異文化に触れ合える機会を与えることから、相互理解に大きく役立つ日豪交流プログラムです。想像を超える国際交流を通して得た経験は強い武器になります。



Deepen Your Exchange with Australian Students



向上する英語力と日本人らしさ

私企業で仕事を得るのとは異なり、外国人が学校という場所で仕事を得ることはほぼ不可能。しかし、このプログラムを通して、学校という特殊な教育現場に入り、海外の教育システムを見て体験できる貴重な機会。

学校という教育現場に於いて地元学生と交流を図ることが出来るのは大変貴重な体験です。また、ネイティブスピーカーの先生と一緒に仕事をする事で、生きた英語を習得でき、生徒とのコミュニケーションから、日常生活に不可欠な力を身につけることができます。

基本的には1学校1人の派遣、まわりに日本人はほとんどいません。空き時間は現地校の英語授業に参加したり数学の授業を見学したり、現地学校生活を実体験できます。そのため、ポキャブラリーが豊富になり、リスニングも格段に向上します。英語漬けの毎日だからこそ、このプログラムに参加して得られる大きなメリットです。語学力も日本人としても短期間でパワーアップを計れる最高の環境です。このような貴重な環境だからこそ一生涯の財産になるでしょう。

英語上達だけではなく、「日本人として」アウェイでの立ち位置を作る

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.

平日のスケジュール（例）

07:00	起床/朝食（朝食は、パンやシリアル）
07:45	登校
08:00	学校到着/授業準備
08:40	授業開始
10:30	モーニングティー（職員室で先生達と一緒にお茶）
11:00	授業
12:30	ランチタイム（お昼はサンドイッチや売店で）
13:30	授業
15:00	授業終了/放課後（買い物、図書館など）
17:30	帰宅（夕食準備手伝いなど）
19:30	夕食
20:30	入浴/家族団欒（テレビ、英語の勉強・ネットなど）
22:30	就寝

通常の留学では叶わない 地元学生生活に密着する リアルな英語漬け環境。

－ 1日にどのくらい日本語の授業がある？

学校によって様々です。オーストラリアの場合通常朝9時から15時まではフルで授業があり、午前中（約11:30頃）に1回、午後（1:30 くらいからのお昼休み）に1回ずつ休みが入ります。例えば、午前中、低学年の2クラスを教える（簡単なセンテンス、ゲームなど）、午後は高学年の2クラスを教える（新しいセンテンス、漢字、文化紹介など）



－ どのような服装？

服装は学校によっても様々ですが、基本的にカジュアルな服装（ポロシャツ・パンツ・など）で大丈夫な学校が多いです。しかしジーンズやTシャツなどは好まれない場合があります。私立の学校に派遣される場合は、服装に厳しいのでセミフォーマルな服も用意しておくが良い。

－ 活動中の滞在は？

基本的に学校関係者宅（派遣校の教師宅または生徒宅等）になります。但し、派遣先によっては学校の事情により、学校関係者以外になる場合もあり。ホームステイ先では、家族の一員となって家族行事に参加したり、お手伝いも進んでみましょう。家族の一員となる事が大切です。

－ どんなことを教える？

ネイティブスピーカーだからこそ教えられることが中心です。正しい日本語の発音や自然な言いまわしの表現を教えたり、黒板への板書や会話の練習、歌や早口言葉なども取り入れ、楽しみながら日本に親しんでもらいます。文化紹介では、マンガや映画、ファッション、最新のヒット曲などの情報も教えつつ、お茶にお花、着物の紹介など伝統的な日本も教えると喜ばれます。

例) 数字、ひらがな、カタカナ、挨拶、映画鑑賞、日本の食べ物、自己紹介、手紙、道案内、買い物用語、時間、科目、漢字、ファッション、昔話、漢字、文法、作文、日常会話など。



－ 授業中は何語？

授業中は英語です。英語を使って日本語を教えます。英語力に自信がない！という方もご心配なく！学校側は、あなたが「ネイティブジャパニーズスピーカー」であるということに重きをおいています。もちろんコミュニケーションがとれることは大切ですが、それよりも「海外の生徒達に日本について教えてあげたい！」というやる気のある人が求められています。



－ 授業以外の時間は？

職員室で次の授業の準備をしたり、教材を作ったり、他の授業を見学や手伝ったり、英語の授業に参加して生徒と一緒に勉強することも。時期が合えば校外学習、キャンプなどの引率でビーチや山に行くこともしばしば。学校パーティー、クラブ活動などなど。



世界三大美港で働く。世界中から訪れる人に「おもてなし」【2週間】

CRUISES HOSPITALITY INTERNSHIP

世界三大美港のシドニー湾が舞台

世界で最も美しいとされるシドニー湾。美しい曲線を描く、入り組んだ湾と白いヨット。その湾を威厳のある姿でまたぐハーバーブリッジや水際に佇むオペラハウス。同じ接客業でも舞台が違う。

湾内に出た人なら誰しも思わずタメイキをもらす光景です。この光景が見たくて世界中から訪れる旅行者達が後を絶ちません。このインターンシップでは、世界有数のクルーズ会社でこれら旅行者の方々の格別のおもてなしをしています。たった数時間の食事や休憩の一時、お客様が満足して帰られるかどうかは接客する側にかかっています。船に揺られながら景色を堪能される旅行者達と共に、シドニーの美しさを再確認し、お客様との会話を弾ませてください。世界中からこの観光都市シドニーへ集まってきた人々へ、ホスピタリティ業、接客業を通して夢のような時間を届けることができるでしょう。派遣先企業は、オーストラリア国内だけではなく、オセアニア、サウスパシフィックエリアでも就航しています。早朝クルーズからランチクルーズ、デイナークルーズ、パーティなど、日々多くの旅行者客や地元客を乗せて、魅力的なシドニーの街を紹介しています。

**Sydney Harbour by night...
it doesn't get any better than this.**



SPECIAL POINT



職場環境で世界のライバルと競う

ホスピタリティ業と一言で言っても実に広域。旅行者をほんの一時を預かる稀有なチャンスと最高の業務経験。国民性を語る時ステレオタイプ意見は相手にされない。世界からの旅行者を相手にすることで、今まで見えなかった世界を見ることが出来る。

●実践の場で英語を体得していく

ネイティブスピーカーと一緒に仕事をする事で、ビジネス英語や口語表現、スラングなど、生きた英会話を習得できます。また接客英語を学ぶこともできるため、別業種へ移っても最低限のコミュニケーション力が身についています。

●有給のポジションへの挑戦

最初の2週間は企業研修（インターンシップ）として無給ですが、能力が認められれば有給スタッフへの切り替えチャンスがあります。もちろんすべての人がこのポジションを勝ち取るわけではありませんが、実力を試し、能力を認めさせる貴重な機会となるでしょう。

※インターンシップ参加者数に限りがあります。事前に確認してください。

Seek to Be the Best you can Be!

インターンシップは、できないことをやらせてもらう場所にあらず

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.



ーインターンシップとは？

文部科学省の定義によると「在学中や卒業直後の学生が、自分の専攻や将来のキャリアと関連した就業経験を、一定期間指導を伴い行うこと」とありますが、簡単に言えば『就業経験』のことです。もともとアメリカの大学生が、就職の前に実際の職場の体験することで、職業に対する理解を得ることと職場に事前に慣れる目的で行われていました。日本では以前、医者・美容師・教師などが、一人前になる前にプロの下で働く「見習い制度」がその多くでした。現在、行政・大学・企業を中心にインターンシップを取り入れるようになり、学生が社会との接点を広げる機会として、活用されてきています。働くということでアルバイトとよく比較されますが、その大きな違いは「目的」にあると言えます。アルバイトは、様々な経験を積むこともできますが、基本的には「決められた作業を行って労働力を提供する代わりにお金を得る」というスタンスです。それに対してインターンシップは、「将来のキャリアを築く上で役に立つ『就業経験』を得ること」に重点が置かれていると言えます。ですから、単に決められた作業をして過ごすのではなく、社会人としての意識を持って参加することで初めて貴重な体験が得られます。



インターンシップの心構え

- ①最低限のマナーを守る（例：服装、無断遅刻・欠勤など）
- ②不明な点があれば必ず確認してから行動する
- ③担当者等の許可なく指定外の場所に入らない
- ④帰宅前に翌日の予定・計画を確認すること（不明であれば聞く）

インターンシップの目的

- ①シドニー近郊のクルーズ会社においてクルーズ船インターン生として勤務することによって実際の船舶の中での就労の場を経験する。
- ②現地ならではの業務を実践することにより、より深く理解をするとともに、クルーズ業務の流れ・運びを学ぶ。
- ③現場を見ることで、豪州のカスタマーサービスの現状をつかむ。
- ④仕事を通して、日本と海外の価値観・常識の違いを知り、多国籍のライバルと切磋琢磨に競いながら負けない競争力を磨く。

ー仕事内容は？

ランチ、コーヒー、ディナーそれぞれのクルーズでのお客様係がメインです。ビュッフェだったりコースだったり時間や船によって異なります。テーブルのセッティング、お客様の乗船時の歓迎・挨拶、食事や飲み物の準備、ランチビュッフェの用意、オーダー、後片付けなどが主な仕事となります。



ーどんな服装？

黒のネクタイ、黒のパンツ、黒の革靴（甲が見えない物）、黒のベルト、筆記用具、メモ帳／シャツ（ユニフォーム）は企業から1枚貸与。もう1枚は自信で購入（別途費用発生）。貸与されたシャツ等はインターン終了後クリーニングをして返還／インターン生でも通常のスタッフと同じであることを自覚し、それにふさわしい服装でインターンに参加すること。

遵守事項

授インターンシップ期間中は受け入れ先クルーズ会社の就業規則または、これに基づく規則に従っていただきます。また、インターン期間中に知りえた機密事項には守秘義務が生じます。

面接の実施

参加前に現地スタッフにて面接を行います。その面接合格者のみ、受入企業担当者との面接を行います。現地スタッフでの面接同様、企業側がインターンシップ参加にふさわしくないと判断した場合、また開始後も不相当と判断された際には中断もありえます。英語やコミュニケーション等を向上させ挑みましょう。

西洋文化・習慣・世界観をコーヒー、バリスタ、カフェから学ぶ【4～5 週間】

CAFE BARISTA APPRENTICE INTERNSHIP



世界屈指のコーヒー大国で学ぶ

National and International Barista Championships の審査員を 10 年の間務め、数多くの賞を受賞している本物志向のカフェ。

世界最大手コーヒーチェーン企業が豪州で苦戦し唯一撤退することになったことは有名な話。特にシドニーには至る所に美味しいカフェが点在しています。一流のバリスタは抽出技術だけではなく、サービスや豆の知識を備えており、まさにコーヒー版の「ソムリエ」です。ここでは、コーヒーの歴史、コーヒー豆の焙煎について学び、マシンの使い方、様々なコーヒーの作り方、ミルクのフロスティングの仕方、アートの書き方などを勉強します。35 年以上の間コーヒーを提供してきたカフェを舞台、数々の賞を受賞し国際大会審査員を務める達人から学ぶことができます。

単にカフェだから、コーヒー作りの技術が学べるのではなく、業界業種職種に関わらず言えることは、どの場所であろうとも自分のポジションを築けるか、戦力となるかが大事です。日本でカフェ経験があろうとも、社会人経験があろうとも、多くの日本人がイメージする職場経験とは大きく異なることでしょう。

※インターンシップ参加者数に限りがあります。事前に確認してください。

**Where you can buy the freshest,
& the most extraordinary premium coffee from around the world.**

SPECIAL POINT

職場環境で世界のライバルと競う

優れたコーヒー豆を探し、選んで、挽くのは簡単ではない。また、その厳選されたコーヒーを手に入れ、おいしいブレンドコーヒーを作るのは、更に単純ではない。上質なコーヒーをオーケストラのハーモニーのような風味にブレンドするのに必要な経験とスキルを獲得するには、多くの試作を繰り返さなければならない。

●実践の場で英語を体得していく

実際に現場で使用する専門用語も覚えられ、仕事をする際にそのまま使うことができます。西洋社会でのカフェの位置づけの文化習得をバリスタやコーヒーを通して学ぶことができます。

●有給のポジションへの挑戦

インターンシップ中は無給ですが、能力が認められれば有給スタッフへの切り替えチャンスがあります。もちろんすべての人がこのポジションを勝ち取るわけではなく、企業側の判断です。



Seek to Be the Best you can Be!

インターンシップは、既にできることを実践して戦力を証明する場所

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.



●バリスタレッスン+インターンシップ

4段階の認定コース実習を通して、プロのバリスタへと昇進するための知識とスキルを強化する。マシンが使えるだけでは1人前のバリスタではない。初心者だけではなく経験者にとっても多くを学ぶことができます。これまで他の学校で学んだ方があまりの違いに驚くほどです。その技術の高さは言わずもがな、です。

- ①3時間のセッション4回からなるフルトレーニング
- ②エスプレッソコーヒーを作りながらコーヒーの全ての特徴を学ぶ
- ③ミルクテクスチャリング
- ④カフェで働く上での実習&実際にカフェでの実地研修
- ⑤サービング、顧客サービス、棚卸し、清掃など
- ⑥その他

※参加時期により、カフェのほかにロースター工場、コーヒースタンド（イベント等）など、インターンシップ活動場所はカフェや工場やイベント会場など。

※バリスタレッスン期間=12時間（3時間x4日間）

※インターンシップ期間=1日6時間x週3日間x4週間

※インターンシップ中の能力やスキルによって内容時間は異なります

※インターンシップ先企業が指定するユニフォーム着用します

※予告なしに内容が変更する場合があります



インターンシップの心構え

- ①最低限のマナーを守る（例：服装、無断遅刻・欠勤など）
- ②不明な点があれば必ず確認してから行動する
- ③担当者等の許可なく指定外の場所に入らない
- ④帰宅前に翌日の予定・計画を確認すること（不明であれば聞く）

インターンシップの目的

- ①シドニー近郊のローカルカフェインターン生として勤務することによって実際の現地企業での就労の場を経験する。
- ②現地ならではの業務を実践することにより、より深く理解をするとともに、接客業務の流れ・運びを学ぶ。
- ③現場でオーストラリアにおけるカスタマーサービスの現状をつかむ。
- ④仕事を通して、日本と海外の価値観・常識の違いを知り、多国籍のライバルと切磋琢磨に競いながら負けない競争力を磨く。

尊重事項

授けインターンシップ期間中は受け入れ先企業の就業規則または、これに基づく規則に従っていただきます。また、インターン期間中に知りえた機密事項には守秘義務が生じます。

面接の実施

インターンシップ参加前に現地スタッフにて面接を行います。現地スタッフでの面接合格者のみ、受入企業の担当者との面接を行います。現地スタッフでの面接同様、企業側がインターンシップ参加にふさわしくないと判断した場合、またインターンシップ開始後も不適当と判断された際にはプログラムの中断もありえます。インターンシップ参加までのカリキュラムでしっかりと英語やコミュニケーション等を備え挑みましょう。



英語だけでは武器にならず！海外で働くリアルな難易度を知る【1~4週間】：サステナブル活動で学ぶ【1週間~】

OFFICE/SDGs INTERNSHIP&VOLUNTEER

ビジネス英語 + 戦力が求められる

海外でのインターンシップは日本とは異なる。日本でできない事は海外でもできるわけではない。できない事をやらせてもらう場所ではなく、できる事を実践する場所。ホームを出てアウェイで働く厳しさと正しい難易度を知る。

実際にオフィス系でインターンシップに参加できている人はREBORNでも少数です。社会人経験のない学生はもちろん、日本で実務経験のない社会人の参加も難しいのが、この海外オフィス系インターンシップです。オーストラリアでは、大学卒業後、もしくは在学中から無給インターンシップを取り入れ、卒業後1年ほど経験をつけてから就活したり、インターンシップした場所で就職することが一般的です。その現場を想像してみると、外国人の立場であり、言語もネイティブではなく、また即戦力となる経験や能力がない場合、インターンシップ生として入り込める難易度の高さは想像に難しくないでしょう。昨今では、インターンシップの立場でありながら有給を求める日本人も少なくありませんが、それはインターンシップ後に企業から求められる人材=有給で雇用したい人材と判断されてからの話です。

ビジネスシーンで使える英語力はもちろん、企業の利益となる能力を備え初めて挑戦できる上級者向けのステージです。



Our Approach TO SDGs



先進国一員として SDGs 取り組み

REBORN Project では留学・ワーキングホリデー等を通して海外挑戦中にフードロスへの取り組みを推進。世界で毎年累計13億トンもの食品ロスが発生しており、世界の食料生産量の約三分の一の人が十分な食事ができていない。日本も年間約643万トンの食品ロスが発生。先進国の日本人として世界と共にSDGsの取り組みに参加する参加者を応援したい。

●食品ロスに立ち向かう、オーストラリア随一の団体

オーストラリア最大級を誇るこの非営利団体は、独自のネットワークを使い全国2,600を超えるチャリティ団体と1,750もの学校へ食品を配送し、年間実に63億食分の材料を提供しています。これは一日17万食以上を扱うことになり、大きな都市から小さな村まで、食べ物を必要とする人たちのために作業をしています。このプログラムでは、シドニー周辺から運び込まれる食材を自社倉庫で各団体へ分配し、配送準備をしていきます。「与えることで与えられる」を信念に、小さな子どもから大人まで、大企業の社長や多くが社会的責任の一環として従業員を派遣してもいます。食品ロスを社会問題と捉える3,000名を超えるボランティアが名を連ねており、その中に混ざっての活動です。

自分「I」だけの留学もいいが、「You」や「We」の留学があってもいい

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.



project_ **STAGE.3**



日本で学び、
豪州で磨き、NYで挑む
本気のワーホリ

挑むワーホリ、たたかう留学



世界最大のグローバル市場で挑む【8週間】

REBORN PROJECT STAGE NEW YORK

世界に日本を売れる・発信できる人材へ

ニューヨーク滞在では既存の留学スタイル（通学やホームステイなど）ではない。日本で学び、豪州で磨き、多国籍民族国家で生き抜いてきた経験を自信に変え「挑む」ステージ。2度目のゼロからのスタート、新しい出会いと新たな挑戦。用意されている環境は「世界に日本を売る、発信する場」「交流する場」、そして世界中から挑戦者が集まる「マンハッタンという戦場」。これまでの経験を活かし、日本人としてのポジショニングを確立していく。

NYは違うのが当たり前の街。物価も高い、英語を学ぶ場所でもない、何かこれというものが無いといけないうる街だ。そういう人たちが集まっている場所がNY。ここは期間が短くても世界からの挑戦者達と同じ土俵で同じ挑戦者として頑張れる。街からもエネルギーをもらえるし、人が出すエネルギー

もまたスゴイ。今まで出せなかった何かを開花できる可能性が秘めている。この街を訪れたら誰もが自信を失うかもしれない。英語が使えても活躍できる街ではない。人としてのパワーを持たないとやっていけない街。日本や他国で経験できない厳しさ難しさがあるこの街で挑み、海外経験を戦力に変えよう。



Dragon (Tatsuya YAMAMOTO)

2011年よりニューヨーク在住。ニューヨーク州公認不動産エージェントとして活動する傍ら、イベント主催・代行、マーケティング事業、飲食事業を手掛ける。「日本人を世界に出す」を軸に、12年に「海外挑戦者の溜まり場」、14年に「J-KURUNY」、16年から「ジャパンフェス」をスタート。岡山県出身、同志社大学卒業。アメリカ永住権を持つ。

SPECIAL POINT



目標を決める 1 週間

NY Goal Setting

ニューヨーク到着1週目に多岐にわたる業務を見て知り目標のセットアップ。2週目以降はさらに深く追及したい業務をピッアップして「挑む」スタート。

● イベント運営、マーケティング、セールス、PR、取材など

- ・自分でイベントを企画、プロデュース
- ・既存のイベント準備、当日の運営
- ・SNSなどで日本のプロダクトをアピール
- ・インフルエンサーアタック
- ・撮影、編集などでより効果的なビジュアル作り
- ・イベント出展者、スポンサー集め
- ・デジタルマーケティング企業アタック
- ・各メディアにプレスリリースの配信
- ・アメリカで活躍する人を探し、インタビュー、編集

※要スキル、活動内容サンプルは次ページ参照

目標達成に向け動く 7 週間

Move Japan forward

1週目で選択した目標達成に向け活動を進めていく（複数可）どのように海外で実績を作り出すのかも大切だが、限られたアウェイ環境下で決して怯まず「挑戦する」ことが何よりの財産になる。

英語より武器になる経験を積む

DREAM BIG. CHALLENGE HARD.

NY Goal Setting (NY 到着～1週間目)

1. ニューヨーク到着後、現場を知り1週間以内に2週目からの目標設定を行う。

カテゴリ	内容	必要なスキル	活動・行動内容のサンプル
イベント企画	自分でイベントを企画、プロデュース	企画力	日本文化発信イベント・飲食店の集客を上げるイベントを企画
イベント運営サポート	イベントの事前準備	営業力	ローカルの大学に声をかけボランティアを集める
	イベントの当日運営	マネジメント力	ボランティアリーダーとして指示を出す、
マーケティング	SNSなどで日本のプロダクトをアピール	分析力	インスタ、FaceBookに英文で投稿。反応を分析し改善していく
	インフルエンサーアタック	分析力	1万人以上のフォロワーを持つニューヨーカーと英語で交渉
	撮影、編集などでより効果的なビジュアル作り	デザイン力	ニューヨーカーが何を求めているか分析して見せ方を考える
セールス	イベント出店者集め	営業力	NYにあるレストランに声をかけイベントへの参加を促す
	イベントスポンサー集め	営業力	大企業にイベントを売り込みスポンサーになってもらう
	デジタルマーケティング企業アタック	営業力	日本の製品を海外で売りたい企業に声をかけ提案する
PR	各メディアにプレスリリースの配信	文章力	NY TIMES、ユーチューバーなどメディアに取り上げられる
取材	アメリカで活躍する人を探し、インタビュー、編集	取材力	会いたい人を自分で見つけ、インタビューして記事に

※ニューヨーク渡航時期や滞在時期により参加や活動内容は異なります。上記の内容や環境は関連事業や現地都合により予告なしに変更する場合あり (2020年1月現在情報)



●街フェス(運営サポート、マーケティング、営業、PR)

サマーフェス、ラーメンコンテスト、スイーツコンテスト、アジアンバイツなど、年間 10 以上のイベントを企画・開催



●インドイベント(運営サポート、マーケティング、営業、PR)

プールパーティ、カウントダウンイベント、アニメイベントなどイベントを企画・開催



●インドイベント(運営サポート、マーケティング、営業、PR)

ルーフトップイベント、クルーズイベント、お酒のイベントなどイベントを企画・開催



●飲食店(イベント企画、マーケティング)

Brooklyn にある鹿児島ラーメン店を運営



●TAMARIBA (イベント企画、Youtube 撮影、取材)

NY で活躍する日本人が集まる『挑戦者の溜まり場』を運営。相互の情報交換や学びの場を提供



●異文化交流会 (イベント企画運営サポート、マーケティング)

異文化交流をしたい日本人、ニューヨーカーのための Meet-Up を運営している

Move Japan forward (2週間目～8週目)

2. 1週目で決めた目標を2週目から計画・実行して達成を目指す。



●1万人のニューヨーカーにリアルジャパン&リアルジャパニーズを発信

ニューヨークの土地に根付く日本のフェスティバルは1万人以上のニューヨーカーを集める。日本と海外で、学び、経験してきたモノをぶつけてほしい。常にニューヨーカーは、リアルな日本を求めている。このイベントに足を運べばニューヨーカーがいかに日本を注目しているか知ることができる。ただ見てもらう、感じてもらう、だけではなく、イベント後の彼らの生活に日本文化を取り入れ、馴染んでもらえるようにしたい。JAPAN Fesでは、より消費力のあるニューヨーカーをターゲットにすることで、日本のビジネスや地元の日本食・商品が活性化していくことを狙いとしている。地域復興支援例として、日本の地域が誇るグルメを自治体と組み、NYデビューさせるイベントを開催したり、日本グルメ促進として、ラーメンコンテストや焼酎会社とニューヨークの日本食レストランと焼き焼酎コンテスト開催や日本文化啓蒙などの公演サポートなど。まだまだ日本の本当の魅力は外国の方には伝えられていないのが現状だ。このイベントを通して、今後より多くの海外の人に「本物」の日本を知り、楽しみ、そして精察に取り入れてもらい、日本が世界でより活躍できるサポートをすることを目標としている。一緒に JAPAN Fes を盛り上げ、「本物」の日本を伝えていこう！

●毎週たくさんのニューヨーカーと交流

ワーキングホリデーや留学で鍛えた語学力、コミュニケーション力、より日本人らしさを遺憾なく発揮してほしい。日本のこと、日本人のことをドンドン紹介してほしい。日本人として国籍問わず対等に関係を築き、1週間で10人ずつニューヨーカーの人脈を作してほしい。ニューヨークでは、本気のワーホリ、本気の留学で挑戦してきた人は、より「世界の味」を知ることができる！

●ニューヨークに集まる海外挑戦者達と交流

ミュージシャン、アーティスト、コメディアン、ダンサー、モデル、海外起業家、女優、侍、留学生、官僚、医者、弁護士、とジャンル問わず「世界で挑戦し続ける人たちだけ」が集まっているのもニューヨーク。世界で戦う日本人との交流から学ぶ！

Be REBORN Your Working Holiday

これまでのワーホリを変える、 新しいワーホリプログラム。

もう何となくで、留学やワーホリに行く時代ではありません。

とりあえず海外に行ったら何とかなる？英語もペラペラになる？そんな淡い幻想はもう捨てましょう。

日本の常識は世界の非常識。日本人感覚だけでやっていけるほど海外は甘くない。

最近、遊びで終わる海外生活にしたくない、従来のワーホリ帰国者にはなりたくない、本気で海外挑戦を考え、貴重な時間とお金と権利を無駄にしたくない選択を意識する人が増えてきました。

日本も鎖国繁栄は終焉を迎え、国内外問わず国際社会の先進国として人も企業も政府も変革する時代。

そして海外に目を向ける時代に敏感な「あなた」はもう動きはじめています。

本気で挑戦したい人がいる限り、留学業界の枠にとらわれず本気で挑戦し続けていきたい。

これからの時代が求めるグローバル人材＝国際派の日本人を創り出す。

その夢を実現することが REBORN Project の目標です。

REBORN Project Team

REBORN Project Team メンバー

鳩野寛文

佐藤純子

Anthony Lucas-Smith

Dragon (Tatsuya YAMAMOTO)

REBORN Project 運営事務局

On Cue Global

<https://oncueglobal.com/>

※この資料に記載されている内容は 2020 年 1 月現在のものです。実際にプログラム参加の場合に内容が異なる場合があります。参加前に必ず運営事務局へ確認してください。